



今月のピアニスト!!!

音楽で広がる交流の場



大垣真弓さんは、ピアノ講師の父の影響で幼稚園からピアノを始め、音楽大学卒業後に地元苫小牧へ戻りピアノ講師を30年続けています。現在、4歳の子どもから幅広い年齢層にピアノを教えながら、苫小牧中央高等学校で時間講師として音楽の授業も受け持っています。

大垣さんはピアノという楽器の良さについて「毎日一人



おおがき まゆみ
大垣 真弓さん
お問い合わせ
e-mail : iida_piano@yahoo.co.jp

でコツコツ練習を続けなくてはなりません、弾けなかった曲が弾けるようになり、目標を乗り越えていくことで、あきらめないで続けていく大切さを学べるんです」と教えてくれました。そんな練習を頑張っている子どもたちの日ごろの成果を、身近なお友達に聞いてもらいたいという思いから、若草小学校の音楽室を借りて、ピアノを弾ける子なら誰でも参加できる発表会を始めました。今では演奏する子どものお母さんたちが事

務局を立ち上げてくれるようになり、みんなで作り上げるイベントとして、今年の秋で10周年を迎えます。

大垣さんは「お友達の前で演奏し『おお』と言われたときの子どもたちはとてもいい顔をするんです。みんなの前で演奏することが自信になり、新しい目標に向かう楽しさ、やる気につながります」と、子どもたちの上達する姿を、うれしそうに見つめています。

高校の授業では、生徒たちに音楽をもっと身近に感じて楽しんでもらいたいという思いから、ボディーパーカッションやハンドベルなどさまざまな工夫を取り入れていています。「苫小牧は、音楽に関する方々の多いまちです。みんながそれぞれの音楽を楽しみ、気軽に披露できる、そんな場がたくさんあると素敵ですね」と優しい笑顔で話してくれました。

みんなの

